

西暦 2025 年 4 月 1 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：脳神経外科患者における脳皮質白質繊維と 脳機能ネットワーク相関関係の解析

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

藤田医科大学病院の脳神経外科、脳卒中科に、2017 年 4 月 1 日から、2027 年 12 月 31 日までに入院または通院した方

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的) 既知の神経科学で、どの部位がどの機能に関連するか、多くの研究が行われています。近年、画像を用いた解析や、手術技術の進歩によって、これまで知られていなかった部位や神経繊維が、重要な機能を持っていることがわかってきています。脳に腫瘍など病変や、脳出血、脳梗塞による損傷があることによって、本来とは違う場所が特定の機能を担っていることが多くあり、どの部位を手術すると、どのような症状が生じるか、わからない点もまだ多くあります。手術後に、機能障害が生じたとしても、すぐに回復する症状もあれば、ある程度時間がかかって回復する機能もあり、何が関与しているか、現時点では不明です。

方法) 本研究では、脳神経外科、脳卒中科で手術をされた患者さんを対象に、術前、術後、そして、慢性期の時期に、MRI を用いた解析と神経機能評価、生活の質の評価を行うことで、既存の脳機能ネットワークと比較し、新たな知見を得ることが目的となります。電子カルテの診療情報を使用し、既存資料のみ使用します。脳神経外科患者、主に、手術を受ける患者に対する術前、術直後 1 週間以内と慢性期 (3 ヶ月後、6 ヶ月後)、そして、脳卒中患者の発症直後と慢性期 (3 ヶ月後、6 ヶ月後) の、大脳皮質、白質繊維に与える影響を、MRI (T1WI、tractography など)、機能 MRI などの画像を用いて、大脳皮質、白質繊

維を解析します。脳卒中の患者については、発症前の MRI 画像があれば、使用し、発症後の評価から基本的に行います。同時に、術直後 1 週間以内と慢性期（3 ヶ月後、6 ヶ月後）の神経機能評価（言語評価、運動評価、高次機能評価などを含む）を行います。リハビリテーションで行う評価範囲内で行います。

研究期間）倫理審査委員会承認日～2028 年 3 月 31 日。

3．研究に用いる試料・情報の種類

MRI など画像評価や、リハビリテーションで行う範囲の神経機能評価等、生活の質の評価等です。本研究のための追加の検査はありません。

4．外部への試料・情報の提供

なし

5．研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 医学部 脳神経外科 准教授 氏名 武藤 淳

既存試料・情報の提供のみを行う機関：なし

6．除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 脳神経外科

担当者：武藤 淳

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-9253